

様式1(主な取組)

活動指標名	県民の森の維持管理				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
	修繕の実施	修繕の実施	修繕の実施	修繕の実施	修繕の実施		100.0%	22,170	順調	県民の森公園内で修繕が必要な箇所について工事を実施し、利用者の安全確保を目指した。		
活動指標名					R元年度					R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
								22,170	順調	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 県民の森公園内で修繕が必要な箇所について、工事を実施し、利用者の安全確保に繋がった。取組の進捗は順調である。		
活動指標名					R元年度					R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
								22,170	順調			
(2)これまでの改善案の反映状況												
令和元年度の取組改善案						反映状況						
<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した施設の改修等について、長寿命化計画に基づき一部実施する。 自然との触れあいを通して森林・林業の役割を正しく理解させる体験プログラムを実施する。 						<ul style="list-style-type: none"> 個別施設計画を策定し、学習展示館及び森林科学館の大規模改修工事の設計業務を実施した。 指定管理者により、炭作り体験、どんぐり染め体験、琉球藍染め体験、葉っぱでバッタ作りなど、県民の森の自然を活かした体験プログラムを実施した。 						



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因	外部環境の変化
<ul style="list-style-type: none">・開設から30年以上が経過していることから、施設の老朽化や社会的要請、利用者ニーズの変化により、本来の役割を十分に果たせていない施設もあり、大規模な改修が必要な時期となっている。	<ul style="list-style-type: none">・やんばる地域の世界自然遺産登録に向けた取り組みが進行している中、森林への関心が高まっており、林業体験や森林環境教育分野での体験プログラムの実施が求められている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・施設の多くが老朽化していることから、予防保全を主体とした施設管理を行い、安全性の確保並びに維持管理費用の縮減及び平準化を図り、計画的・効果的な維持管理を行う必要がある。
- ・自然との触れあいを通して森のしくみや役割を身近に感じてもらう体験プログラムを実施する必要がある。



4 取組の改善案 (Action)

- ・学習展示館及び森林科学館の大規模改修工事を実施する。また、令和3年度予定の内装展示工事に向け調整等に取り組む。
- ・自然との触れあいを通して森のしくみや役割を身近に感じてもらう体験プログラムを実施する。